



優秀賞 (居室部門)

タイトル

リビング収納+ロフト階段

タイプ

持家共同建

講評

限られたスペースの中で、収納の確保としっかりした階段を両立させている点が秀逸。簡単そうに見えて家具の強度など考えることは多かったはず。移動式のはしごを組み合わせた点にユーモアのセンスが感じられる。

リフォーム前後の写真



リフォーム前



① はしごは左端の高い収納の出し入れにも使う。



② 中身はワゴンで引き出せる。ビデオ、おもちゃなど持ち物に合わせて収納場所を細かく設定した。



③ 収納カウンターに付けた階段と移動式のはしご。はしごはカウンター上の溝に沿って左右に移動する。左のカウンター上収納は階段状にし、左右のバランスを取った。



④ ロフト上から見た階段。上り下りがらくになった。

リフォームの動機 / 設計・施工の工夫点 / 施主の感想 など	
《リフォームの動機・要望》	きの階段を設置した。また、存在感を最小にするためスチールの枠組みにして空気感を出した。はじめは箱階段を希望されたが、収納的には細かく分かれすぎて使いづらいし、階段を優先すると収納量が足りない...。など、階段という「機能」と収納という「実用」かつ「デザイン」のバランスを取るため、プランは何度も練り直した。
1.自由設計のコーポラティブハウスの家具造作。リビング上のロフトへ上がるため、上り下りが困難な既存のはしごを使いやすい階段に替えたい。ロフトは書斎として使うので頻繁に上り下りするし、小さな子どもも居るので安全のためしっかりした階段にしたい。	2.空間計画と自然素材(珪藻土の壁と植物性オイルの塗料)にこだわった自由設計の家なので、家具もそのコンセプトに従い、扉材に突き板を使用、塗料は植物オイルを使用した。
2.設置位置はリビングの収納スペースにしたい場所でもあるので、「収納を兼ねた階段」をつくりたい。	
《リフォームのポイント》	
1.リビングの壁面に収納を作り、途中まではしご、その上到手すり付	
特に配慮した住宅性能など：耐震補強 省エネルギー バリアフリー 住む人の健康 その他()	
データ	

所在地	神奈川県川崎市	構造 / 築後年数	鉄筋コンクリート 造 / 2 年
該当工事面積	2.58 m ²	該当部分工事費	180 万円
居住者構成	2 人 (大人 15歳以上)	2 人 子供	人) ペット
設計者	(株)東急アメニックス	担当者	植木 友裕・栗原 ゆきの
施工者	同上	担当者	

リフォーム前 | リフォーム後

